

第44回日本化粧品学会 プログラム

メインテーマ：オープンイノベーションによる化粧品科学の新たな世界

2019年6月28日（金） 1日目

10:00～10:05 開会挨拶 会頭 中川晋作（大阪大）
総合司会：見坊行広（岩瀬コスファ）

10:05～10:35 会頭講演 座長：林 伸和（虎の門病院）
マイクロニードルが拓く新たな化粧品・医薬品の世界
中川晋作（大阪大）

10:35～11:35 一般研究演題（I） 皮膚生理 I 5題（発表8分，質疑4分）
座長：世喜利彦（上武大）
木曾昭典（丸善製薬）

R01「保湿」と「バリア」にかかわる Caspase14 の新展開
～環境変化による肌荒れ原因の可能性～
村田大知¹，松元有羽子¹，○宮井雅史
（資生堂・グローバルイノベーションセ）

R02 アスコルビン酸誘導体“VC-3LG”の細胞間脂質中脂肪酸の合成促進効果
○岸本真紀子¹，中村清香¹，正木 仁²，吉岡正人¹，
（¹成和化成，²東京工科大・応用生物）

R03 皮膚メラニン合成に着目した紫外線ダメージへの時間生物学的対応
○合津陽子，土師信一郎
（資生堂・グローバルイノベーションセ）

R04 有機ゲルマニウムおよびビタミンC誘導体の新規組み合わせによる正常ヒト表皮メラノサイトにおける
メラニン産生抑制効果
○安積遵哉¹，武田知也¹，佐伯裕史²，宮下忠芳²，中村宜司¹
（¹浅井ゲルマニウム研，²ディーエイチシー）

R05 コメヌカ超臨界 CO₂ エキスの美白効果に関する研究
○鈴木 聡（実正）

11:35～13:35 昼休み（120分） 下記ポスターセッション①を含む

12:25～13:25 ポスターセッション①
（以下の5演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席）

P01 マイクロ波分解－ICP-MSによる市販化粧品中微量金属不純物の含有実態調査
○久保田領志，秋山卓美，五十嵐良明（医薬品食品衛生研）

P02 黒ショウガ由来メトキシフラボンのシワ形成とメラニン産生に対する作用
○小林桃佳¹，渡辺 章夫²，米澤 貴之²，禹 濟泰¹
（¹中部大院・応用生物学，²中部大・生物機能開発研）

P03 酸化ストレスによる脂質過酸化産生量の増加は細胞黄色化を促進させる

○江口琴音¹,吉本 聖¹,吉田萌生¹,柳 大樹¹,八木政幸²,山下裕司³,平尾哲二³,市橋正光⁴,
安藤秀哉¹ (¹岡山理科大学・工学研究,²ロゼット,³千葉科学大・薬,⁴同志社大・生命医科)

P04 3次元培養ヒト皮膚モデルを用いた種々医薬部外品製剤からの有効成分の皮膚透過性評価 (2)

○細田晴夫¹,関口翔平¹,倉持隆則¹,武内博幸¹,平森基起¹,渡辺 新²,藤堂浩明²,杉林 堅次^{2,3}
(¹ローマン工業,²城西大,³城西国際大)

P05 カシミア加水分解物による毛髪の日常ダメージ改善効果

○竹内良太 (一丸ファルコス)

13:35~13:45 理事長挨拶 石河 晃 (東邦大)

13:45~14:35 一般研究演題 (II) 製剤評価 4題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 藤堂浩明 (城西大)
田中 浩 (日本メナード化粧品)

R06 Development of a reconstructed human skin model *in vitro* for screening formulas on alleviating infant atopic eczema

○Hongjian GU¹,Tinghan JIA¹,Yi ZHU¹,Xiao LI²,Di WU²,Ken Kaku¹
(¹Pigeon Manufacturing Shanghai Co., Ltd. ,
²Guangdong Biocell Biotechnology Co., Ltd.)

R07 Development of a reconstructed human skin model *in vitro* for screening formulas on baby diaper dermatitis

Linyi Zhuang¹,○Masashi Kurokawa¹,Yu HUANG¹,Xiao LI²,Di WU²,Ken Kaku¹
(¹Pigeon Manufacturing Shanghai Co., Ltd.
²Guangdong Biocell Biotechnology Co., Ltd.)

R08 改良型 S/O 技術による両親媒性生理活性物質の経皮吸収促進

○後藤雅宏¹小田義士²,宮本雅義²
(¹九州大院・工学研究・²シャネル化粧品・技術開発研)

R09 ファインファイバー膜による肌内部活性化とスキンケア効果

○内山雅普¹,長澤英広¹,笹岡 俊²,宮木正廣¹
(¹花王・スキンケア研,²花王・解析科学研)

14:35~14:50 休憩 (15分)

14:50~15:35 特別講演 I 座長: 中川晋作 (大阪大)
化粧品学が取り組む研究開発イノベーション
末延則子 (ポーラオルビスホールディングス)

15:35~16:35 一般研究演題 (III) 皮膚生理 II 5題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 笠 明美 (コーセー)
榎本康孝 (みづほ工業)

R10 紫外線照射した正常ヒト皮膚由来線維芽細胞における骨分化マーカーの遺伝子発現変動

○柴田雄次¹,山田勝久¹,山本 樹¹,野村道康¹,今田千秋²
(¹ディーエイチシー,²東京海洋大)

R11 紫外線照射した正常ヒト皮膚由来線維芽細胞に対する伊豆赤沢海洋深層水の石灰化抑制効果

○山本 樹¹,山田勝久¹,柴田雄次¹,野村道康¹,今田千秋²
(¹ディーエイチシー,²東京海洋大)

R12 トラネキサム酸は光老化モデル線維芽細胞の真皮マトリックス再生を促進する
○遠藤香凜¹, 仁木洋子¹, 大橋幸浩¹, 正木 仁² (¹日本精化, ²東京工科大)

R13 線維芽細胞の光老化はリボフラビンとトリプトファンの共存下で促進される
○吉本 聖¹, 佐藤那津¹, 八木政幸², 市橋正光³, 安藤秀哉¹
(¹岡山理科大学・工学研究, ²ロゼット, ³同志社大・生命医科)

R14 X線散乱を用いた真皮細胞外マトリックス微細構造の評価
○足立浩章¹, 奥野凌輔¹, 田中 浩¹, 長谷川靖司^{1,2}, 中田 悟¹
(¹日本メナード化粧品・総合研, ²名古屋大・メナード協同研究講座)

16:35~17:05 用量設定法ガイドライン検討委員会からの報告

座長：高橋慶人（花王）

「ヒト長期投与（安全性）試験の用量設定法ガイドライン」について
○藤井まき子（用量設定法ガイドライン検討委員会）

17:05~ 案内

総合司会：見坊行広（岩瀬コスファ）

18:30~ 懇親会（コートヤード・マリオット 銀座東武ホテル）

2019年6月29日（土） 2日目

9:30~10:00 総会

10:00~10:50 一般研究演題（IV）安全性

4題（発表8分，質疑4分）

座長：須賀 康（順天堂大・浦安病院）
植田光一（東洋ビューティー）

R15 有限用量系にて適用した有効成分の皮膚透過および皮膚中濃度推移の予測
○藤堂浩明¹, フローレンシオ ヴィ アーセ¹, 浅野成美¹, 杉林堅次^{1,2}
(¹城西大, ²城西国際大)

R16 Weight of Evidence を用いた光感作評価系の構築
～光感作データベースの構築及び ROS assay の光感作性評価への適用～
○大竹利幸¹, 廣田衛彦¹, 尾上誠良², 戸倉新樹³, 足利太可雄⁴, 上月裕一¹
(¹資生堂・グローバルイノベーションセ, ²静岡県立大, ³浜松医科大, ⁴医薬品食品衛生研)

R17 金属ナノ粒子による金属アレルギー様病態の発症機序解明に向けた、ナノ粒子の感作性評価
○東阪和馬^{1,2}, 越田 葵¹, 衛藤舜一^{1,3}, 佐藤建太¹, 小椋万生¹, 辻野博文¹, 長野一也¹, 堤 康央^{1,4}
(¹阪大院薬, ²阪大院医, ³阪大 IPBS, ⁴阪大 MEI セ)

R18 SSCI-Net 症例情報から見てきた香粧品の皮膚安全性(2019)
○松永佳世子^{1,2}, 鈴木加余子^{1,3}, 矢上晶子^{1,3}, 杉山真理子^{1,4}, 加藤則人^{1,5}, 若林正浩^{1,6},
藤井まき子^{1,7}, 林 秀樹^{1,8}, 山本順二^{1,4}, 張山幸江¹, 籠橋雄二¹
(¹SSCI-Net, ²藤田医科大・医・アレルギー疾患対策医療学, ³藤田医科大・医・総合アレルギー科,
⁴日本化粧品工業連合会, ⁵日本皮膚科学会, ⁶日本臨床皮膚科医会, ⁷日本香粧品学会,
⁸日本ヘアカラー工業会)

10:50～11:40 一般研究演題（V）皮膚生理Ⅲ

4 題（発表 8 分、質疑 4 分）

座長：青木宏文（資生堂）

瀬川憲人（セニルラボラトリーズ）

- R19 加齢に伴う上眼瞼の形態変化と眼輪筋厚の関係
○五味貴優, 宍戸まゆみ, 三谷 信, 原田靖子（ポーラ化成工業）
- R20 加齢に伴う真皮弾性線維の構造変化
○小林豊明¹, 寺村 崇¹, 水谷友紀¹, 輪千浩史²（¹コーセー, ²星薬科大）
- R21 米由来エキスによる皮脂およびヒアルロン酸産生促進作用
東 愛美¹, 秋元賀子¹, 近藤彩音¹, 川島 眞², 平松泰成³, 佐藤 隆¹
（¹東京薬大・生化, ²東京女子医大, ³EBC&M）
- R22 オリーブ果実搾りかす抽出物は細胞内グルタチオン合成を促進する
○吉川まどか¹, 水谷多恵子^{1,2}, 岡野 由利^{1,2}, 正木 仁¹
（¹東京工科大院・バイオニクス, ²CIEL）

11:40～13:40 昼休み（120 分） 下記ポスターセッション②を含む

12:30～13:30 ポスターセッション②

（以下の 7 演題の発表者は、ポスター前で、1 時間、責任在席）

- P06 好熱性細菌及び酵母菌による多段階培養発酵技術から得られた発酵エキスの有用性
○川野大地¹, 付 子華¹, 伊達 朗², 廖 箏箏³, 聶菁³, Eduardo PEREZ⁴, Jose FERNANDEZ⁴,
Corey WEBB⁴, Kristen HUBER⁴, Jeffry B. STOCK⁵, 川上純司⁶, 孫 培文³
（¹紅道科研センター, ²シーアイディ R&D, ³上海上美化粧品, ⁴Signum Biosciences,
⁵プリンストン大, ⁶甲南大・FIRST）
- P07 化粧品成分の論理的デザイン
○緑川 淳¹, 木村 敏郎¹, Jordi Mestres²
（¹ワールドフュージョン, ²Chemotargets, S.L.）
- P08 マクロファージの炎症性物質産生に対するエミューオイルの効果
○足立卓哉, 小倉エレン, 伊藤 実, 丹羽光一（東京農業大院・食品香粧）
- P09 フェンバレート類縁体の合成と発毛活性の検討
○嶋田拓弥¹, 藤井誠史郎², 眞鍋泰明², 小澤 明², 馬淵智生², 毛塚智子^{1,3}
（¹東海大院・工学研究, ²東海大・医・皮膚, ³東海大・工）
- P10 紫外線 B 波が及ぼすヒト表皮角化細胞への影響と各種ハーブの保護効果
○山本真衣¹, 市川 寛¹, 南山幸子², 西坂裕介³
（¹同志社大・生命医科, ²京都府立大・生命環境科, ³ネイチャーズウェイ）
- P11 熱ストレスはヒト真皮線維芽細胞の弾性線維の形成を低下させる
○戸田菜月¹, 山脇裕美子², 岡野由利², 正木 仁¹
（¹東京工科大, ²CIEL）
- P12 アクロレインによる角層タンパク質官能基の変化と皮膚保湿機能との関連性
○菊池菜生¹, 本多達也³, 水谷多恵子^{1,2}, 岡野由利^{1,2}, 正木 仁¹
（¹東京工科大, ²CIEL, ³DRC）

13:40～14:25 特別講演Ⅱ

座長：芹澤哲志（ライオン）

アンドロイドの研究開発

石黒 浩（大阪大）

14:25~15:05 一般研究演題 (VI) 有効性・評価法 4 題 (発表 8 分, 質疑 4 分)
座長: 小幡誉子 (星薬科大)
前澤大介 (癸巳化成)

R23 表情記号化解析システム (FACS) による表情解析と画像診断学的表情筋量解析の関係について
: “表情が豊か”であれば、表情筋量も豊富か?

○奥田逸子^{1,2}, 山川弓香³, 太田尚子⁴, 三谷 信⁴, 小松原秀信⁵, 吉岡直紀¹
(¹国際医療福祉大・三田病院・放射線診断セ, ²東京医科歯科大・臨床解剖,
³ポーラ, ⁴ポーラ化成工業, ⁵インテージ)

R24 位相的データ解析による皮膚バリア機能の評価

○古関恵太^{1,2}, 川上英良^{1,3}, 川崎 洋^{1,4,5}, 厚木 徹^{4,6}, 中西美樹⁶・水野 誠⁶・成 英次⁶,
海老原全⁴, 天谷雅行^{4,5}
(¹理化学研・MIH, ²横浜市立大・医, ³千葉大院・医・AI 医学,
⁴慶應大・医・皮膚科学, ⁵理化学研・IMS, ⁶コーセー)

R25 皮膚の健康的なエイジングと沖縄のエクソポソーム

: 沖縄の長寿が及ぼす化粧品業界への影響

○Aina QUEIROZ, Pauline GUEUNIER, Carine QUENEL (SEQENS COSMETICS)

R26 首のシワを改善するレチノールの有効性

○大田正弘, 江 偉娜, 上野堅登, 桜田香織, 一見綾香, 原英二郎
(資生堂・グローバルイノベーションセ)

15:05~15:20 休憩 (15 分)

15:20~17:20 産官学連携による新たな香粧品開発

座長: 林 伸和 (虎の門病院)
大島 宏 (ポーラ)

1. 香粧品分野における共同研究講座制度を活用したオープンイノベーション
岡田文裕 (マンダム)
2. ヒト嗅覚受容体発現細胞アレイによる網羅的匂い分析法の開発と応用
黒田俊一 (大阪大)
3. 化粧品・化粧品原料開発における触覚センシング
野々村美宗 (山形大)
4. 医薬部外品・化粧品分野における最近の行政の動き
大原 拓 (厚生労働省)
5. 総合討論

17:20~

閉会挨拶

次期会頭: 林 伸和 (虎の門病院)

総合司会: 見坊行広 (岩瀬コスファ)